

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県伊勢原警察署協議会
日 時	令和4年4月28日（木）午後2時から午後3時5分まで
場 所	神奈川県伊勢原警察署3階道場
出席者	<p>1 警察署協議会側 佐伯妙有委員、亀井良美委員、木村仁丈委員、飯島大輔委員、飯塚武彦委員、荻籠厚子委員、吉川武士委員 計7人</p> <p>2 警察署側 署長 植松宏文、副署長 一條裕喜、警務課長 掛端健一、会計課長 佐々木和子、生活安全課長 田邊猛、地域課長 笹生一郎、刑事課長 牧野孝二、交通課長 来城治、警備課長 松橋慎也 計9人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	<p>1 諮問 「伊勢原警察署における新型コロナウイルス感染症対策について」</p> <p>2 答申 (1) 共用利用機器及び署内の消毒の徹底 (2) 署のホームページを活用した感染対策に関する情報発信</p> <p>3 措置結果 (1) 非接触アルコール消毒器の設置、来庁者が密にならないよう配慮した書類記載台の設置を行った。 (2) 伊勢原警察署ホームページのトップ画面に、「感染防止のお願い」と題した来庁の際の注意事項、県警の感染状況のリンクを掲載した。 (3) 署員机上にアクリル板、警察署出入口に非接触型検温機の設置を行った。 (4) 朝夕、換気と消毒を呼びかける一斉放送を実施した。 なお、措置結果の説明については、各委員に資料を送付し行った。</p>
	諮問
	「特殊詐欺被害防止対策について」
	答申
	<p>1 個別訪問については警察官と地域の顔のわかる人が一緒に行くことで効果が上がるのではないかな。</p> <p>2 すぐに結果を出すには、自治会や老人会など、いろいろな機会啓蒙活動を行っていくことが必要ではないかな。</p> <p>3 即効性はないが、これから加害者を減らしていくための教育がとても大切である。 「いいバイトがある」という話につられ、気が付いた時には、そこから抜け出せなくなっているという状況があるため、甘い罠があることを教育を通じて伝えていく必要がある。 映像やドラマ仕立てにする等して、被害者家族がどんなに苦しい立場におかれるか、普通の学生、普通の人被疑者になるということを若いころに印象付けていくべきだ。</p>
	業務説明
前四半期（1月から3月まで）の業務推進結果及び今四半期（4月から6月まで）の業務推進重点について書面にて説明を行った。	